

# みんなの議会 おおさと

No.196



- 2 台風19号による被害
- 4 新体制で議会がスタート
- 6 30年度決算 どう使った75億円
- 10 町当局へ16項目の意見を提言
- 19 一般質問
- 31 追跡リポート その後どうなった

10月13日午前7時50分

## 吉田川堤防決壊

2019 令和元年11月1日

宮城県大郷町議会

# 台風19号による被害

被災者の方々に心より御見舞い申し上げます。

大郷町議会



10月13日午前7時50分旧粕川小学校南側堤防が決壊し、中粕川地区から土手崎地区の約141世帯に、家屋が流出するなど大きな被害がありました。また、町内各所でも川の氾濫により床上浸水などの被害が多くありました。

# 町民の期待を担って

新しい議員を紹介します〔正副議長を除く〕  
※氏名・議席番号・当選回数・抱負を掲載します。

2期目の議員として大郷町発展のため、誰もが安心して暮らせるよう、夢、希望、誇りの持てる活力ある町づくりに頑張ります。



あかま しげゆき  
赤間 茂幸  
3番(2回)

人は皆、基本的に意見が異なります。それは争う為ではなく、違いを認め合い、より良い見地にたどり着くためです。頑張ります。



さとう まき  
佐藤 牧  
2番(1回)

町民の皆様が、充実した日々を送れるように町の良き部分を増やしていけるよう尽力してまいります。



よしだ やすひろ  
吉田 耕大  
1番(1回)

# 新体制で議会がスタート

## 議長に石川良彦氏、副議長に若生寛氏を選出

改選後の初議会が、9月11日に開会されました。投票の結果、議長に石川良彦氏、副議長に若生寛氏が当選しました。その後、各委員会の委員、一部事務組合議会議員の選任などを行いました。また、監査委員の選任に同意し、閉会しました。



議長  
いしかわ よしひこ  
石川 良彦  
(当選 6回)

### 信頼される議会を目指して

不肖私、議長に再選され、その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。もとより微力ではございますが、不偏不党で公正かつ円滑な議会運営に努め、より開かれた議会、信頼される議会を目指し、専心努力してまいります。町民皆様には今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副議長  
わか う ひろし  
若生 寛  
(当選 3回)

### 課題解決に向け邁進します

この度、副議長の職に選任されました。責務の重大さを自覚し、議長を補佐し議会のスムーズな運営に努めてまいります。さて、本町の抱える課題は山積みしております。少子高齢化・人口減少・基幹産業である農業の衰退・後継者問題等々。これらの解決に向け、議会一丸となり邁進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



たなか みつこ  
田中みつ子  
6番(2回)

働き盛りの皆さんの為に、町議会議員定数削減と待遇改善を断行します。



さとう ちか お  
佐藤千加雄  
5番(2回)

2期目の議員として、これまでに以上町民の皆様の声の代弁者として、またまちづくりの提案者として、頑張っています。



おおとも みつお  
大友 三男  
4番(2回)

議員の責務を自覚し、大郷町議会議員として、職責を全うします。



わが なおよし  
和賀 直義  
9番(3回)

小さな声にも耳を傾け、丁寧に、誠実に取り組みます。皆様のご指導、ご鞭撻をお願い致します。



いしかわ としかず  
石川 寿和  
8番(3回)

3期目に入り、これまで同様「是々非々を貫く」を念頭に置き、活動してまいります。



あつみ ふみよし  
熱海 文義  
7番(3回)

大郷町の人口減少に歯止めをし、安心、安全で住みよい町づくりに邁進していきます。



ちば ゆうじ  
千葉 勇治  
12番(7回)

長い議員活動で得られた経験を生かし、町民の暮らしに寄り添い、住みよいまちづくりに汗を流すことを信条に活動する決意です。



いしがき まさひろ  
石垣 正博  
11番(4回)

10年間の議員経験を活かし、これからの4年間、是々非々をもつて議論し、住みよい町づくりの為活動してまいります。



たかはし しげのぶ  
高橋 重信  
10番(4回)

非正規雇用、ひとり親世帯の子どもが安心して暮らせる親の雇用、ライフライン整備の充実により定住促進を図る。若い人達が参加できる議会。

**総務産業常任委員会**  
委員長 熱海友海  
副委員長 吉田三義  
委員 高橋重信  
若生寛  
大友三男  
石川良彦

**教育民生常任委員会**  
委員長 赤間幸和  
副委員長 石川茂義  
委員 佐藤直義  
赤間幸和  
石川茂義  
赤間幸和

**議会運営委員会**  
委員長 石川義和  
副委員長 赤間幸和  
委員 熱海文義  
石川義和  
赤間幸和  
石川義和

**黒川地域行政事務組合議員**  
吉田三男  
大友三男  
和賀直義  
佐藤直義  
若生寛

**吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合議員**  
高田重信  
中みつ子  
石川寿和

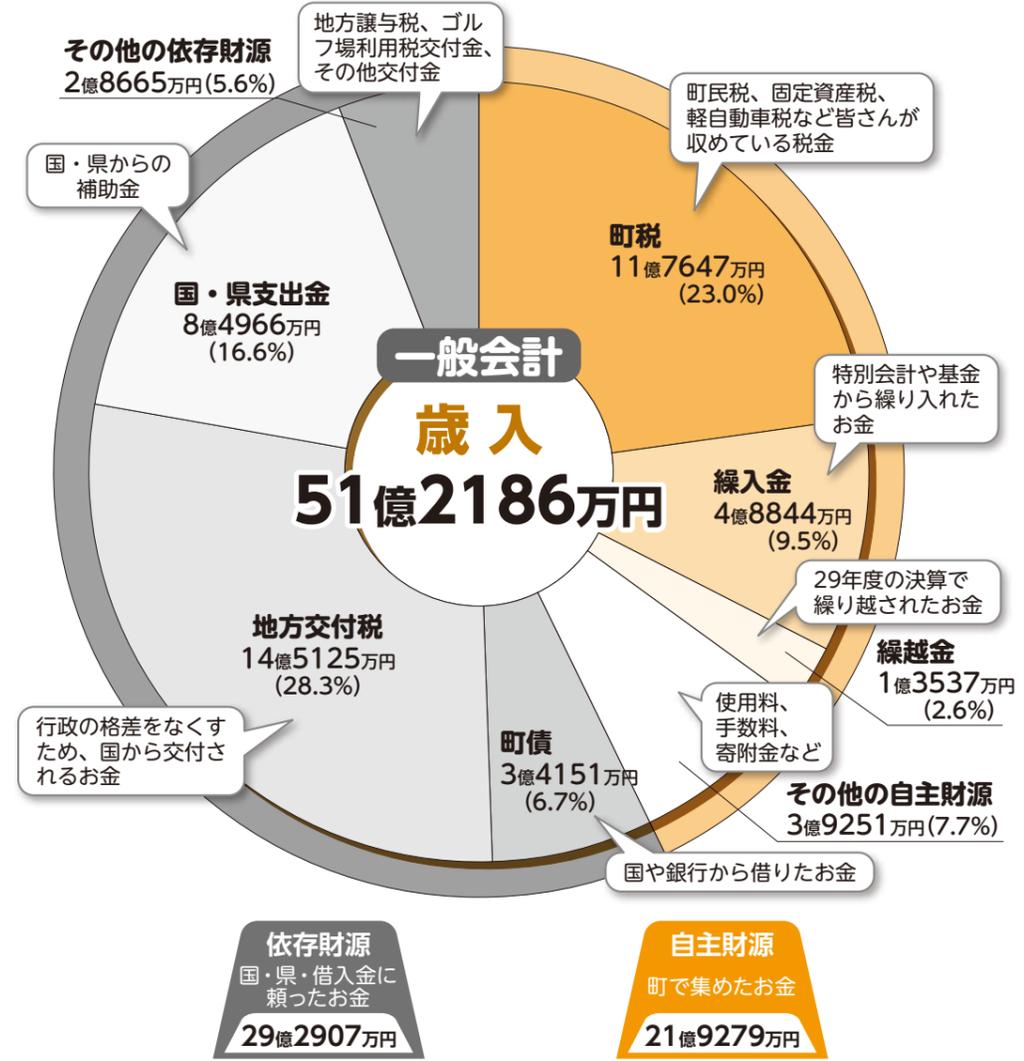
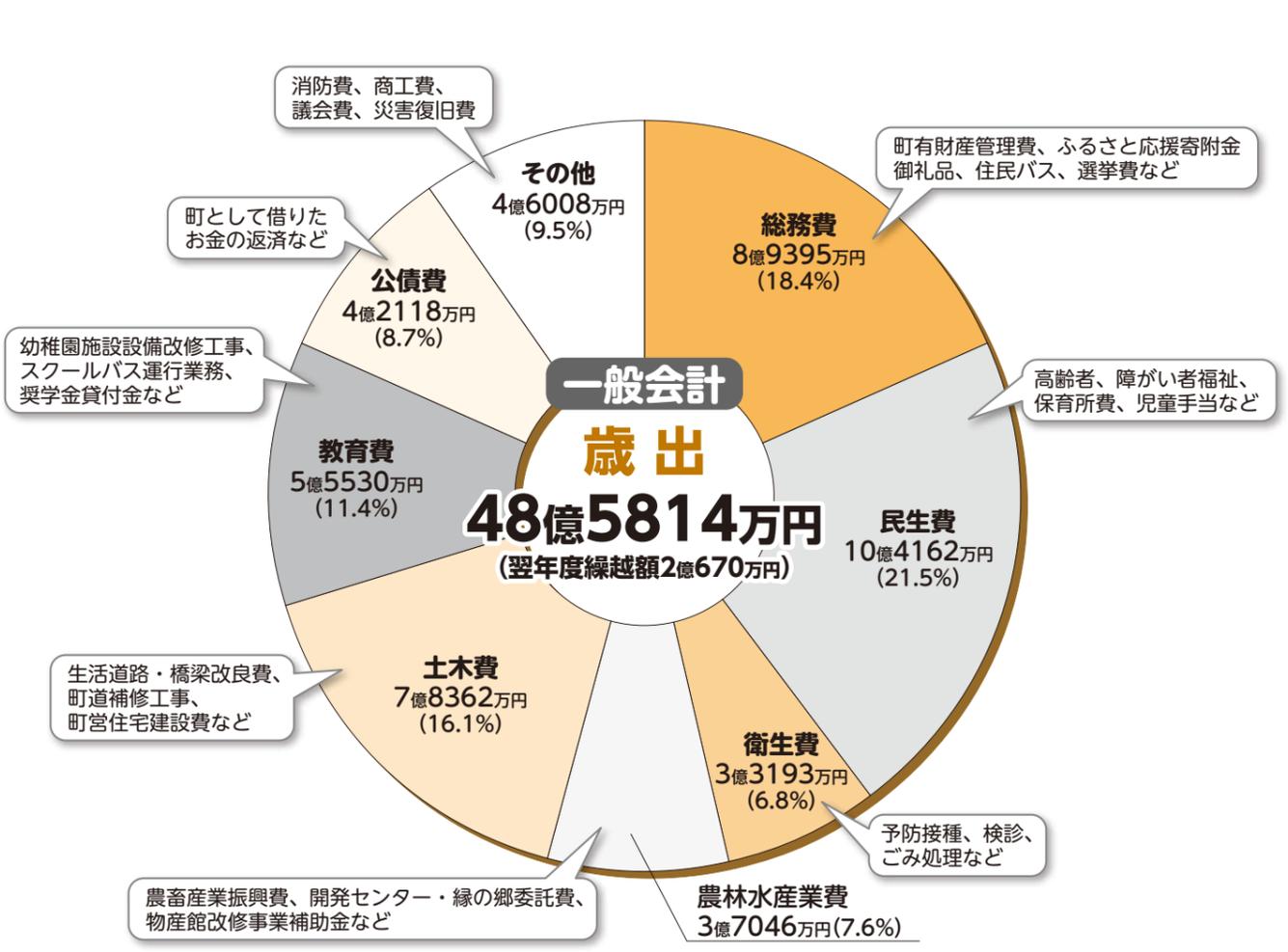
**宮城県後期高齢者医療広域連合議員**  
千葉勇治

**監査委員**  
佐藤千加雄

30年度

# 決算 どう使った？ 75億円

一般会計  
特別会計



令和元年第3回定例議会は、9月18日から10月4日まで17日間の会期で開かれ、一般質問では10人の議員が登壇し、人口減少対策、教育環境整備、移住定住促進など町政全般にわたり議論を展開しました。また提案された補正予算9件、報告2件、同意1件、諮問1件などの議案を審議し、原案のとおり可決しました。平成30年度決算は一般会計、7つの特別会計および水道事業会計を含む、総額75億円の決算を認定しました。

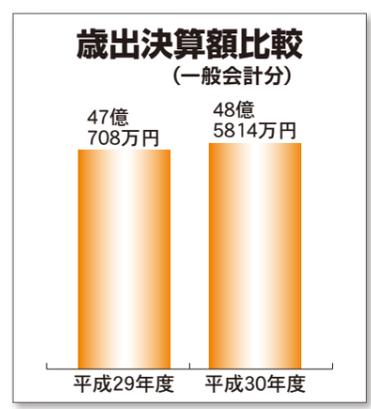
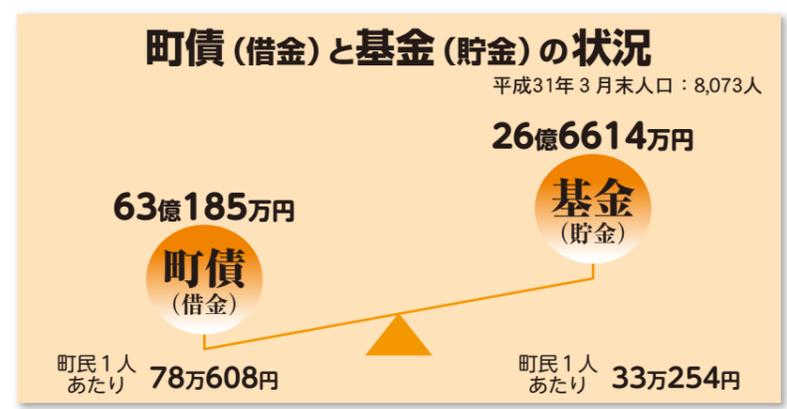
●各種歳出決算額●

会計別	平成30年度決算
一般会計	48億5814万円
特別会計	
国民健康保険	8億4878万円
介護保険	9億7928万円
後期高齢者医療	7995万円
下水道事業	2億1913万円
農業集落排水事業	4993万円
戸別合併処理浄化槽	5321万円
宅地分譲事業	5454万円
水道	
収益的支出	2億2116万円
資本的支出	1億3941万円
合計	75億353万円

※1万円未満は四捨五入

このような事業に使われました

- すこやか子育て医療費助成に 3053万円
- 幼稚園、小・中学校スクールバス運行業務に 5924万円
- 学校給食調理および配送業務に 1834万円
- 幼稚園、小・中学校給食費の無償化に 2783万円
- 保育所等主食費無償化に 60万円



# 一般会計・特別会計・水道事業会計決算を

# 徹底検証

平成30年度の決算を詳細に審査するため、特別委員会を設置し、延べ5日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。本会議では委員会審査報告の後採択し、一般会計及び各種会計を認定しました。



大友 三男 副委員長



熱海 文義 委員長

決算審査

決算審査

主なつかいみち	
保育事業委託費	1億4326万円
ごみ焼却処理 (黒川地域行政事務組合)	8036万円
黒川病院 (黒川地域行政事務組合)	4533万円
奨学資金貸付	936万円
パソコン賃借料(小・中学校)	889万円

**問** 洪水、地震、土砂災害等全ての自然災害を考慮して作成されたい。  
**答** あらゆる災害に対応できるような、住民にとって活用しやすいマップを作りたい。

## 防災ハザードマップ

**問** 和室の利用状況は。  
**答** 企業の会議・ケータリングによる食事・体験教室・休憩所等の実績がある。  
**問** エレベーターについて  
**答** 2階エリアの活用を含めて検討。

## 物産館の2階の利用等

**問** 縁の郷は毎年1000万円弱の公費がかかっているが、今後について。  
**答** 一帯を田舎の大自然を感じて宿泊できる個性的な観光施設にしていく。町全体を農業テーマパークとして農村文化を活かす方向で町と共に考えていける企業と連携していく。

## 縁の郷

**問** 運行経路の見直しを。  
**答** 現在、大松沢地区のみ運行中。今年度から住民バスで下校時間帯を増便中。

## スクールバス(中学校)

主なつかいみち	
住民バス管理費	3832万円
ふるさと納税御礼品	4154万円
老人ふれあいの家 補修工事・指定管理料	775万円
縁の郷施設管理費・修繕料	961万円
開発センター施設管理費・修繕料	432万円

**問** 多面的機能活動組織交付金の使い道は。  
**答** 農地維持のため、農道や水路等の軽微な補修など16団体が利用している。

## 多面的機能活動組織交付金

**問** 保育士確保の問題はないか。  
**答** 運営法人の社会福祉法人「みらい」によれば、良いとされる仙台と同等の待遇にすることで保育士確保を進めている。

## 認定こども園の準備

**問** 町独自の取り組み発信とHP更新は。  
**答** 子育て支援策等は県内でも先駆的な取り組みであり、さらなるPRと古いデータの更新を各課にも指導する。

## 町のホームページ管理

**問** 減りそうだと懸念していたようだが、現状は。  
**答** 返礼品は牛タンと米の人气が高く、申込み数が伸びている。1億円突破(平成30年度実績9162万円)を目指す。

## ふるさと納税

**問** 会場を減らした影響は。  
**答** 冷房がない場所での体調を崩す方もおり、集約した受診率は横ばい。高齢の方が来られなくなったという苦情もあり今後検討する。

## 健診場所の集約

**問** 旧大松沢小学校校舎を活用できないものか。  
**答** 旧大松沢小学校は消防設備がなく、使用には多額の費用がかかることから、旧たばこ会館の調査を検討中。

## 歴史民俗資料館

**問** 健康増進予防についての方針は。  
**答** 町民課と保健福祉課で連携を深め対応したい。

## 健康増進



▲先駆的な子育て支援策を



▲ふるさと納税 目指せ1億円

**問** なるべく仕事をシェアして残業を減らしてほしいが。  
**答** 業務量が増えたのに職員人数は変わらなかったが、時間外軽減の努力はしている。

## 職員の時間外勤務

**問** 街路灯の一部で、日中でも点灯している箇所があるが。  
**答** 10月末までに対処予定。

## 街路灯

**問** 障害者地域活動支援センターの活動状況は。  
**答** すみれ会が中心となり活動している。今後も継続していく。

## 障害者地域活動支援センター

# 町当局へ16項目の意見を提言



## 奨学資金貸与条例等の見直しを

大郷町奨学資金貸与条例等の見直しを検討され、利用者の利便性を図られたい。

**問** 高校・大学進学に利用した場合、10年返済は困難。返済期間の延長を検討しては。

**答** 返済期間の延長も含め、議論と調査を進める。



## 危険なブロック塀の解消を

危険なブロック塀の解消に向けて助言し、周知を徹底されたい。

**問** 以前から指摘されているが改善は。

**答** ブロック塀はあくまで個人所有物。合同点検も実施し、書面通知もしている。補助を出すことを周知して危険認知してもらえるよう努める。



## 超過勤務の縮減を

適正な人員配置等を考慮し、超過勤務の縮減を図られたい。

**問** 業務過多な部署への人員補強や、ワークシェアリングなどを検討しては。

**答** 財政的にも、雇用条件的にも人員補強は困難だが、超過勤務の縮減に努めていく。



## 収入未済額の縮減を

収入未済額の縮減を図られたい。

**問** 12課のうち、多くの課にわたり収入未済額があるが。

**答** 原因を把握した上で、未納者に対し個別に対応するなどして努力している。



## 国民健康保険特別会計

受診率向上を図り、医療費抑制につなげられたい。

**問** 制度を十分に活用して予防に努めてほしい。

**答** がん入院患者が格段に増えている。透析患者も増えた。診療報酬明細書にかかる費用はミス防止のため必要だが、今後も医療費抑制に努める。



## 中央公民館の実施計画を

中央公民館について、早期に実施計画を定め、町民の利便性を図られたい。

**問** 中央公民館の整備に向けた計画を示せ。

**答** 老朽化については周知のとおり。施設の個別計画に沿って進める。



## 広く町内外に発信を

本町独自に取り組んでいる「定住促進事業及び子育て支援事業」を広く町内外に発信されたい。

**問** 町独自の両事業の取り組みをホームページ等で情報発信すべきでは。

**答** ホームページ等で最新の情報を発信できるように配慮する。



## 総合的な公共交通体制を

住民バス及びふれあい号の利便性を考慮した、総合的な公共交通体制を早期に構築されたい。

**問** 住民バスとふれあい号の連携はとれないか。

**答** 住民バスの利用者数は減っている。連携をとれないか検討する。



## 後期高齢者医療特別会計

長寿健康増進事業を活用し、健康寿命の延伸を図られたい。

**問** 広域連合納付金も活用しやすくなっている。町独自の予防医療を是非考えてほしい。

**答** 医療費抑制のため、町民課と保健福祉課で連携し考えていく。



## 介護保険特別会計

介護支援の拡充を図られたい。

**問** 介護支援サービスの拡充が求められているが。

**答** 配食サービスは、今年度より週2回から週3回に増やし拡充に努めている。



## 農業経営の担い手の育成を

農業経営の担い手の育成に努められたい。

**問** 良い農作物の作り方を教えていくことこそ後継者育成ではないか。

**答** その土地で何を作るかという意欲を向上させ、JAや普及センターと連携して後継者確保に努める。



## 健康診断の受診率向上を

健康診断の重要性を周知し、受診率向上を図られたい。

**問** 健診会場を1ヶ所に集約した効果は。

**答** 冷房のない場所のため体調を崩す方もいたので集約した。受診率は横ばい。今後は高齢の方も受診しやすいように検討する。

## 下水道事業特別会計

加入促進を図り、水洗化率の向上に努められたい。

**問** 一層の水洗化加入促進と経営健全化に努められたい。

**答** 公共下水道処理地域は全て下水道完備している。加入促進に努めていく。

## 水道事業会計

漏水調査を引続き実施し、有収率向上を図られたい。

**問** もっとスピード感のある調査が必要では。

**答** 貝柄塚での大規模漏水は修繕済み。調査開始から2年経ち進んできた。町自前の水源利用が、給水向上に不可欠と考える。

## 農業集落排水事業特別会計

加入促進を図り、水洗化率の向上に努められたい。

**問** 未加入者への働きかけは。

**答** 加入してもらえよう、啓発していく。

## 戸別合併処理浄化槽特別会計

加入促進を図り、水洗化率の向上に努められたい。

**問** 補助金の増額は。

**答** 財政環境が許せば可能である。

## 討論

### 一般会計

#### 反対 大友三男議員

高崎団地公営住宅の建設工事入札の不透明性、利用価値のない住民バス購入の無計画性、井ヶ田製茶(株)との協定締結後に物産館改修事業の議決を求めたこと等、町長の独断性が強く、事業執行が適正かつ公平とは言えず、反対する。

#### 賛成 佐藤千加雄議員

限られた予算を効果的に活用するよう編成・執行された。今後、行財政改革大綱の内容を丁寧かつ強力で推進し、産業振興対策、土地の利活用等の中長期的なビジョンを明確にし、庁内総力での更なる樹立を切望し、賛成する。

#### 賛成 高橋重信議員

決算収支のバランス良好のため、計画的で適正な予算執行である。特に子育て支援・定住促進施策に積極的に取り組んだことは高く評価できる。今後も自主財源確保に努め大郷町総合計画に沿ったまちづくりを切望し、賛成する。



▲慎重審議が行われた決算審査特別委員会

### 監査委員の意見(要約)

**自主財源確保に努め計画的な財政運営を**

**一般会計** 自主財源の構成比は42・8%で前年より増となり努力の跡が見られるが、引き続き自主財源確保に努め、計画的な財政運営に取り組みことを望む。  
〔歳入〕 不納欠損額が前年対比69・4%ほど増額となった不納欠損処理前の対策強化を望む。依然として残る(株)おおさと地域振興公社の未償還金の早期解消を望む。  
〔歳出〕 公共施設等個別整備計画の下、的確かつ適正に維持管理することを望む。繰越明許分不用額と予備費の充てんが増加傾向にあったので、適正な時期の発注と適確な予算計上を望む。

**国民健康保険特別会計** 税金が減収している中、政策目標を掲げ生活習慣病予防策を推進し、給付抑制に努められたい。

**介護保険・後期高齢医療特別会計** 予防医療事業等の推進による健康寿命の伸長増進で、給付抑制に努力されたい。

**下水道・農業集落排水・戸別合併浄化槽事業特別会計** 一層の水洗化加入促進と経営健全化に努められたい。

**宅地分譲事業特別会計** 残りわずかとなった分譲地について、早期完売に向け努力願いたい。

**水道事業会計** 前年度策定した水道事業経営戦略に基づき、有収率向上を目指し、引き続き石綿セメント管・老朽管の計画的な更新や漏水調査を実施し、経営健全化に努められたい。

**監査意見の遂行状況** 年次有給休暇のさらなる取得率向上に向け、時間外勤務手当の抑制と職場環境整備に努められたい。収入未済について各課横の連携を密としながら情報共有を強化し、債権管理条例を遵守され滞納額縮減に努められたい。今後の事務執行に当たっては内部統制を充実させ、規程・規則を厳に遵守し適正な事務処理を遂行されたい。

# 未来づくり基金積立に 1億509万円

一般会計と7特別会計及び水道事業会計の補正予算が提案され、可決しました。

一般会計は3億2150万5000円を増額し、歳入歳出それぞれ50億9309万7000円となりました。主なものは、未来づくり基金積立と除融雪などである。

めだま



## 今回の主な

4250  
万円

### プレミアム付商品券換金費



歳出

**問** プレミア付商品券換金費の内容は。  
**答** 消費税導入による換金事業で100%国からの補助。非課税世帯と子育て世帯が対象となる。

576  
万円

### ふれあい号 運行管理業務



歳出

**問** ふれあい号の利用状況は。  
**答** 75歳以上なら誰でも利用でき、7月1日現在の対象人数は1476人で登録者数は183人。8月は1日8.5人の平均利用者であった。

3000  
万円

### ふるさと応援寄付金 (3000万円補正し6000万円となるもの)



歳入

**問** ふるさと応援寄付金の使い道はどうなっているのか。  
**答** 昨年度は住民バス購入などにあて、残りは基金に積み立てた。今年は大郷の拠点づくりやふれあい号運行など8項目に使用。

97  
万円

### 保育所等主食費 無償化事業費補助金



歳出

**問** 保育所等主食費無償化事業補助は県内で大郷町と大衡村だけである。無償化した経緯は。  
**答** 幼稚園が無償であり、不公平となることから無償とした。

831  
万円

### 中学校トイレ改修 設計業務



歳出

**問** 中学校のトイレ改修工事はいつ完成するのか。  
**答** 令和2年に着工、完成する予定。

## その他の質疑

### 農山漁村地域整備 交付金事業

**問** 農山漁村地域整備交付金事業とは。  
**答** 行井堂堰の応急工事負担金である。

### 町道補修工事

**問** 町道補修工事はどこを工事するのか。  
**答** 緊急補修する際の工事費である。

### 側溝整備工事

**問** 側溝整備工事はどこを整備するのか。  
**答** 町道の山崎不來内線、山崎蛭田線、大松沢貝柄塚線である。

### 施設設備等改修工事

**問** 施設設備等改修工事はどこを整備するのか。  
**答** 海洋センターの県道側フェンスの修理工事で長さは125mである。

### 未来づくり事業貸付金

**問** 未来づくり事業貸付金収入について。  
**答** 地域振興公社への貸付金収入で、5000万円と4650万円で合計9650万円となっている。

### 整備工事

**問** 側溝整備工事と水路整備工事の箇所は。  
**答** 郷和荘下の側溝整備、旧粕川小学校と糟川寺の間にある水路整備である。

### 物産館費

**問** 物産館費の施設請負費・備品購入費は。  
**答** 夜間のライトアップ工事である。  
備品購入費はAED（自体外式除細動器）の購入費です。

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	吉田耕大	佐藤牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生寛	石川良彦	
報告	健全化判断比率について	報告のみ															
	資金不足比率について	報告のみ															
諮問 P16	人権擁護委員 (大黒 秀一氏)	適任	無記名投票														
同意 P16	教育委員会委員 (及川 明美氏)	同意	無記名投票														
条例改正 P16	消費税の税率改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
	大郷町印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	大郷町立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	大郷町保育園条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	大郷町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	大郷町企業立地促進特別奨励金条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
大郷町上水道事業給水条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
補正予算計 P14-15	一般会計 (第2号) 50億9310万円 (3億2151万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険 (第2号) 8億5811万円 (124万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険 (第2号) 10億8121万円 (2181万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療 (第1号) 8387万円 (122万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業 (第1号) 2億3573万円 (617万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業 (第1号) 7203万円 (1351万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽 (第1号) 6498万円 (10万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業 (第1号) 1423万円 (16万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
水道事業会計 (第1号) ①収益的支出: 2億2566万円 (61万円↑) ②資本的支出: 1億4297万円 (4389万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
決算認定 P6-13	一般会計 歳出 48億5814万円	認定	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険 歳出 8億4878万円	認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険 歳出 9億7928万円	認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療 歳出 7995万円	認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業 歳出 2億1913万円	認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業 歳出 4993万円	認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽 歳出 5321万円	認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業 歳出 5454万円	認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
水道事業 ①収益的支出: 2億2116万円 ②資本的支出: 1億3941万円	認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第5回臨時会	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	無記名投票														

(↑)は増額、(↓)は減額  
 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席  
 ※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

9月定例会  
**条例改正**

一般議案は条例の制定1件、条例の一部改正7件、諮問1件、同意1件を原案どおり可決しました。

大郷町保育園条例

**可決**

法律の改正により、保育所に入所した年度の4月1日時点で満3歳に達している幼児の保育料を無料にした。

大郷町立幼稚園  
 保育料等徴収条例

**可決**

法律の改正により、保育料及び預かり保育料を無料にした。

災害弔慰金の支給等  
 に関する条例

**可決**

償還の猶予等が定められた。

大郷町放課後児童  
 健全育成事業の設  
 備及び運営に関する基準を  
 定める条例

**可決**

「都道府県知事」の次に「又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の19第1項の指定都市の長」を加えた。

大郷町企業立地  
 促進特別奨励金条例

**可決**

「産業集積の形成に関する基本計画において、指定集積業種として指定した業種及び当該業種」→「地域経済牽引事業の促進に関する各基本計画において承認された地域経済牽引事業及び当該事業」

消費税の税率改正  
 に伴う関係条例の  
 整備に関する条例の制定

**可決**

消費税の税率改正により、施設利用時の電気料や使用料の消費税率を10%にした。

大郷町上水道事業  
 給水条例

**可決**

消費税の税率改正により、消費税率を10%にした。

大郷町印鑑登録及び  
 証明に関する条例

**可決**

法律の改正により、旧氏の表記がされた。



おいかわ あけみ  
 及川 明美氏  
 (味明)

教育委員に  
 任命

教育委員会委員に及川明美氏を任命することに同意した。  
 (任期:令和元年10月1日から4年間)



だいく ひでかず  
 大黒 秀一氏  
 (川内)

人権擁護委員  
 の推薦

任意満了に伴い、人権擁護委員に大黒秀一氏(再任)を推薦することに同意した。  
 (任期:令和2年1月1日から2年間)

# 新 町営住宅5棟着工へ

令和元年第4回臨時会が8月6日に開催され、高崎団地新築工事請負契約の締結、小・中学校のエアコン設置工事請負変更契約の締結について審議し、原案どおり可決しました。

	内容	金額	業者名
第四工区	木造平屋建て1棟 (107.37㎡)	8965万円	皆成建設(株)
	木造2階建て3棟 (68.53㎡)		
	木造2階建て1棟 (147.34㎡)		

【議案第36号】  
工事請負契約の締結について  
令和元年度高崎団地新築工事第4工区分の工事請負契約の締結。  
問 バリアフリー化は。答 地域整備課長 公営住宅法に基づいた事業であるため、バリアフリーに対応していない。

【議案第37号】  
工事請負契約の締結について  
小・中学校エアコン設置工事で、小学校の既設キュービクルが消防認定品のため、容量変更ができないことから別の場所へ新規キュービクルを増築する。  
工事請負契約金額  
変更前 1億196万2000円  
変更後 1億540万3680円



議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	石川良彦	吉田茂美	千葉勇治	石川秀雄	高橋壽一	高橋重信	和賀直義	赤間 滋	若生 寛	石川壽和	熱海文義	佐藤千加雄	大友三男	赤間茂幸	採決結果	
			第4回臨時会	工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工事請負変更契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席  
※可否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

## 効果のある人口増対策を

移住や住民定住策で人口増に努める(町長)

問 子育て世代の若い人たちに向け、物産館内に移住定住PR専門のインフォメーション設置をすべきでは。  
答 まちづくり政策課長 開発センター内の公民連携室で行う。  
問 田中町政になっても、人口減少が止まらない原因は、若い世代の転出である。子育て世代の定住施策として、預かり保育や放課後児童館の時間延長を。  
答 町民課長 町に直接時間延長の話はなく、考えていない。  
問 学力向上の一助として、公営の学習塾の設置をすべきでは。  
答 教育長 視野に入れて検討している。  
答 町長 人がいないので塾はやらない。

問 20区画のうち18区画販売でき、うち13区画に若い町外の方が家族で移住し、人口増に効果のあった高崎団地恵の丘を、どのように評価しているのか。  
答 町長 町主導での造成事業は財政破たんする。より効果的な方策を検討する。

### 仕上がり 問題のある駐車場

問 8000万円の商品として買い上げた駐車場は、完成から1年も経たないうちに、舗装の継ぎ目の亀裂や段差、更に凹凸があり応急工事を行った跡があり、仕上がり問題のあることを、どのように捉えているのか。  
答 地域整備課 駐車場としての強度や機能に問題ないが、今後適切に管理していく。  
答 町長 駐車場としての利用には影響ない。私は業者を信用して販売してもらった。

### 土曜日曜運行の 公共交通見直しを

問 休日の運行を望んでいる中高生を含む若い世代の意見に答えるのも行政の責任では。  
答 まちづくり政策課長 休日の運行は行わない。  
答 町長 費用対効果を考えた場合、運行は考えていない。



▲預かり保育や放課後児童館の時間延長を

問 住民バスの乗降人数が、日中2・3人と少ない。ふれあい号を使うなどしながら、公共交通の総合的な見直しを。  
答 町長 住民バスは、通勤通学に朝夕走らせるのが本来の使命である。日中の住民バス運行を辞めて、違う方法を考える。

大友 三男 議員

一般質問

臨時会



赤間 茂幸 議員

## 教育のさらなる充実を

### 英語教育の充実に取り組む(教育長)

**問** 幼稚園・小学校で継続して実践してきた英語教育の効果は。

**答** 教育長 小学校での英語活動等はスムーズに展開できている。

**問** 今後の方針は。

**答** 教育長 教師の指導力の向上と学校間の連携を図りながら英語教育の充実に取り組んでいく。

**プログラミング導入**

**問** 将来の仕事につながる学びとは。

**答** 教育長 コンピューターを理解し上手に活用していく力を身につけることは、将来どのような職業に就くとしても極めて重要と考える。

**問** 子どもの「やりたい」を伸ばすとは。

**答** 教育長 子どもは自分のやりたいことには意欲的に取り組み努力する。それ故成果も実感できる。そうした中で学ぶことが好きになり、物事に前向きに取り組む、他のことも興味関心を持つようになる。

**問** 教科横断型カリキュラムとは。

**答** 教育長 時代に求められる資質・能力を育むためには、各教科の学習とともに、教科を関連させ補完し合う学習体制を構築することが必要。

**※1**

**イエナプラン教育の導入を**

**問** 画一的な一斉型授業の限界が指摘される中、探究心を伸ばす新たな教育の在り方として期待を集めるイエナプラン教育を導入する考えは。

**答** 教育長 導入は考えていないが、新学習指導要綱の取り組みの中で学びを支えていく。



▲さらなる英語力向上を

### 道徳の教科化への対応は

**問** 道徳の教科化に伴う評価の仕方は。

**答** 教育長 数値評価ではない。児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握し、文書標記するものである。

**問** 教科化により、授業でねらいとする価値項目は。

**答** 教育長 中学校では変わらないが、小学校では個性の伸長等5項目が追加されている。これは、いじめ問題への対応の充実や、発達の段階をより一層踏まえた体系的なものとする観点から改善が図られたもの。

## 今後の水道事業の施策は

### 広域化等の検討を進める(町長)

**問** 私達にとって、水の安定的な確保は最重要課題である。しかしながら、事業に使用する機械・装置等が集中的更新時期を迎えている。また人口減少に伴い水需要が見込めず収益悪化は必然。今後の水道事業の施策は。

**答** 町長 施設・管路の修繕を行いながら、延命化を図っていく。人口減少と共に給水収益も減り、料金の見直し検討が必要と思われる。大崎広域水道の受水市町村との広域化の更なる検討も進めていきたい。

**問** 本町の自己水源(地下水)の年間配水量は23万6千トン、町全体での配水量は年間88万4千トンで、自己水源は26・6%を占める。もし、その地下水が低下した場合の対応は。

**答** 地域整備課長 大崎広域水道からの水を、全給水区域にバルブ等の調整により供給可能。

**問** 水道事業開始当時は、鉛製の給水管を使っていた所もあった。本町で使用している実態はどうか。

**答** 地域整備課長 鉛の給水管は把握していない。水質検査については基準値を下回っている。

**問** 本町の有収率(総排水量に対し、利用された水量)は76・2%であり年間21万トンの水道水が不明水となっている。1トン当たり230円で計算すると、4800万円の水がどこかに消えている。有収率アップの施策は。



▲大松沢大窪城址排水場

**答** 地域整備課長 有収率が低い原因は漏水が一番であり、引き続き漏水調査を実施していく。

**問** 大崎広域水道事業の料金が令和2年に10%程度の値上げを予定している。本町も経営戦略で5%程度料金を上げる事を見込んでいるが動きはどうか。

**答** 地域整備課長 現在、大崎広域水道から受水を受けている市町村で協議を重ねている。供給単価は今程度の料金に落ち着くと考えられる。

**問** 水道事業は、施設等の老朽化、給水人口減で事業運営は厳しくなる。広域での水道事業を考えるべきでは。

**答** 町長 他の自治体と対等な立場になるようやり方に工夫していく。



石垣 正博 議員

一般質問

一般質問



和賀 直義 議員

## 通学路の安全確保を！

関係機関と連携し安全確保に努める(教育長)

**問** 保護者が一番心配しているのが交通事故だ。全国では想像を超える事故が発生している。さらなる安全対策を。

**答** 教育長 学校や関係機関と連携を図り、安全確保に努めていく。

**問** 危険性の高いブロック塀等のある道路がHPで公表されているが、今後の対応は。

**答** 教育長 町のブロック塀撤去補助事業の活用や倒壊防止策について、周知徹底を図る。

**問** 子ども自身で身を守る教育は。

**答** 教育長 小学校では夏休み前に防犯教室を実施。中学校では特別活動を通して、災害発生時に自分で考え行動できる取り組みを行っている。

**問** 新学習指導要領への対応

**問** なぜ新しい学習指導要領なのか。

**答** 教育長 学校での学びを通して、子どもたちが「生きる力」を育むために学習指導要領が約10年ぶりに改訂され、小学校は令和2年度、中学校は令和3年度より全面实施される。

**問** ※1アクティブラーニングの視点から授業は改善とのことだが、どう変わるのか。

**答** 教育長 「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視した学校の授業の質を高めるため、主体的な対話を通して深く考えさせる工夫を授業に取り入れていく。

**問** 英語教育の具体的内容と教師体制は。

**答** 教育長 小学校3・4年生は、聞くこと、話すことを中心とした活動。5・6年生は聞く・話すことに加え、読むこと書くことを学習する。学級担任の指導を基本として、ALTなども連携を図りながら取り組む。

一般質問



高橋 重信 議員

## 残土の搬入による被害は

保健所では確認できなかった(町長)

**問** 6月、味ふれあいセンターで町の地区懇談会が開催された中で、川内地区の区長から川内流通工業団地付近に住居を構える方が「粉じんや振動がひどく、町で対策してほしい」との要望が出た。土曜、日曜になると大型ダンプの搬入が多く、振動や騒音、風向きによっては粉じんも多く発生している。状況把握しているのか。

**答** 町長 苦情の申立者から状況を聞き取り、塩釜保健所に通報、基準に違反がないか測定したが保健所では残土の搬入がほぼ完了しており、騒音、振動、粉じんは確認できなかった。今後も関係機関と連携を図り公害防止に努めていく。

**問** 法令遵守していても、住民の方が公害と感じるなら調査を行い、住民の立場で環境の改善をすべきと考えるが。

**答** 町民課長 苦情があった場合には、住民や事業者双方に対して、理解と合意が得られるよう説明していきたいと考えている。

**問** 農業委員会の許可は得ているが、盛土の際はコンクリートガラ等がないようにすべきでは。

**答** 町長 そのような問題が発生しているということであれば、農業委員会の在り方についてもはっきりしていくということから始めなければならない。

一般質問



▲地域で通学路の安全確保を！

**問** 新しい教科書はQRコードやバーコードをタブレットで読み取り、動画の再生、英語の※2ネイティブスピーカーを見聞きするなどの授業展開が予想される。電子黒板、タブレット、WiFi環境の整備は。

**答** 教育長 積極的なICT活用が求められることから、学校と連携し、計画的な整備を進めていく。

**答** 町長 町づくりは教育だ。教育に投資は惜しまない。

※1 能動的に学ぶことができるような授業を行う学習方法  
 ※2 ある言語を母国語として話す人



佐藤 牧 議員

## 譲渡型賃貸住宅とは

### 新しい住宅取得の仕組み(町長)

**人口減少に歯止めを**

**問** 先日、移住定住促進のための施策として、譲渡型賃貸住宅という画期的な仕組みが、ニュースにも取り上げられた。この町の人口減少に歯止めをかけるきっかけになるものと確信をもっているが、

**答** 町長 譲渡型賃貸住宅は、現金・住宅ローンに代わる第三の住宅取得の方法として開発されたもので、10年から28年の契約期間中賃貸として住み続けると、最終的には自分の持ち家となる。新しい住宅取得の仕組みである。

**問** 新入居者が住宅を取得しやすくなるという利点は、広く理解されたと思うが、一方でデメリットが生じはしないかという不安もある

**新しい仕組みの導入を**

**問** 今までも効果の一番大きいとされる医療費助成や保育料支援などの子育て支援を積極的にやってきた。今回さらに、移住・定住支援の新しい仕組みを導入することに、この制度

を成功に導きたいと願っている。希望者が町に投資して町の株主になるという画期的な制度を採用している自治体もある。これからの行政執行部と議会には、前例のない取組みも含めた政策立案力が求められているのでは。

**答** 町長 行政執行部・議員も含め、例え自分の思い通りにいかなくても、やり抜こうという理念と信念が必要。これからの若い世代の新しい発想力に期待している。



▲株式会社リネリス、河北新報社より抜粋引用



吉田 耕大 議員

## 「道の駅」の目標売上げ・目標来客数は

### 売上げ4億円、来客数60万人(町長)

**「道の駅おおさと」や観光資源について**

**問** 次年度の目標来場者数、目標売上額は、

**答** 町長 売上・年額4億2000万円、集客目標・年間60万人を、公社としての次年度目標としている。

**問** 「道の駅おおさと」に大郷町マップを作り、町の案内人コンシェルジュを置いてみてはどうか。

**答** 町長 正面エントランス左側にインフォメーションを設置しており、コンシェルジュを置くことも考えているが、費用対効果などを勘案し、設置に至っていない。

**開発センターの使い道について**

**問** 現在の使用状況は、

**答** 町長 各種団体による利用、一般の方による製麺加工室や製粉室の利用、まちづくり政策課公民連携室の事務室利用などとなっている。

**問** 今後、開発センターをどう活用していくのか。

**答** 町長 人の交流拠点・食と農業活性・地域産業の経済活動等の拠点化を念頭に、機能の集約・整備を図るよう、関係団体等と協議、連携しながら検討していく。



▲今後さらなる発展へ

**モロヘイヤをもっとPRしてみようか。また、新商品を出さないのか。**

**答** 町長 様々なモロヘイヤを使った商品の特設コーナーを設け、町の特産品としてPRをしている。新商品開発についても公社と協議・連携しながら検討していく。

**住民バスや交通について**

**問** 高齢者の方々にとってバス停が遠いため、対応されたい。

**答** 町長 住民バスは、多くの皆様に利用いただくため、現在の路線で運行している。場所によっては不便をお掛けしている場合もあると思うが、ご理解いただくと共に、75歳以上の方々に

については、ふれあい号の利用を検討いただきたい。

**問** 大松沢地区の中学生は通学バスを利用しているが、部活動をしている生徒の下の校時の安全対策は、

**答** 教育長 中学校では、学級活動や生徒集会時に登下校時の安全指導を行っている。

一般質問

一般質問



熱海 文義 議員

## 想定外の災害への対応を

### 大規模災害への訓練を実施する(町長)

**問** 道の駅西側駐車場の有効利用について、現在のイベントの他にどのようなことを考えているか。

**答** 町長 駐車場としての利用に留まらず、道の駅・フラップ大郷21に隣接し、県道沿いといった立地を活かし、おおさと地域振興公社と協議連携しながら様々なイベントなど多目的な利用に対応していきたい。

**問** クラシックカーフェスティバルのようなイベントの開催などを考えては。

**答** 農政商工課長 多目的にスパーカー、農業機械の展示やフリーマーケットの開催などを検討している。

### 駐車場の有効利用を

**問** 調査済みの土地、家屋をどのように利用していくのか。

**答** 町長 全ての空き家を調査した結果、住居不能の空き家が114件中59件あり、「空き地・空き家バンク」の活用とともに大郷町地方創生推進連携協議会の協力も得ながら、所有者も含めた負担の少ない方法での処分などについて検討していく。

**問** 危険家屋より東沢団地と田布施団地の譲渡型賃貸住宅を先行して進めていくつもりなのか。

**答** 参事 危険家屋対策と同時進行していく。

### どうする危険家屋

### 災害対策を

**問** 想定外の災害が日本各地で起こっているが、本町も災害対策が必要ではないのか。

**答** 町長 大規模災害を想定し、総合防災訓練や水防訓練を実施するとともに、「自主防災組織」を全行政区に結成し、地域防災力の向上に努めている。ハード面では、国や県に要望活動を行い、吉田川や味明川の堤防嵩上や河道掘削などの河川改修を行い、現在は吉田川上流域に「遊水地」の新設工事を進めている。

**問** 現在傾いている電柱が見受けられ、台風が来た際にライフラン寸断により孤立する可能性があるため、NTTや東北電力に調査点検を依頼しては。

**答** 総務課長 NTTと東北電力に安全性について確認していきたい。



▲この傾き大丈夫？



若生 寛 議員

## 汚染廃棄物処分計画は

### 牧草地に還元する(町長)

**問** 保管中の農林業系汚染廃棄物の量と汚染度合いは。

**答** 町長 稲わら274口1ル38・1tを薬研沢地域に設置したビニールハウスに保管している。放射線量は1420ベクレルという結果である。

**問** 測定値の最高値、最低値はいくらか。

**答** 農政商工課長 全部測定ではない。1ハウスより10点採取し、それを混合し測定した。環境省の測定基準である。

**問** これらの処分計画の詳細は。

**答** 町長 放射線量に応じた計画を策定し、堆肥化処理後に牧草地に還元する。

**問** 農政商工課長 稲わらの量に必要な堆肥を他より搬入し混合。必要な堆肥の量等は家畜保健所の指導を得ながら実施する。

**問** すき込みの時期、場所、面積は。

**答** 農政商工課長 環境省の補助事業であり、採択された次第事業を開始する。散布面積、堆肥化のための堆肥舎の規模等も家畜保健所に試算を依頼する。

**問** 堆肥舎建設の場所、予算は。

**答** 農政商工課長 保管場所が薬研沢牧場であり近い所としたい。予算は農林業廃棄物処理加速化事業による補助事業である。

**問** 焼却処分計画はどうなったのか。

**答** 町長 黒川地域行政事務組合理事会で焼却はしない事とした。

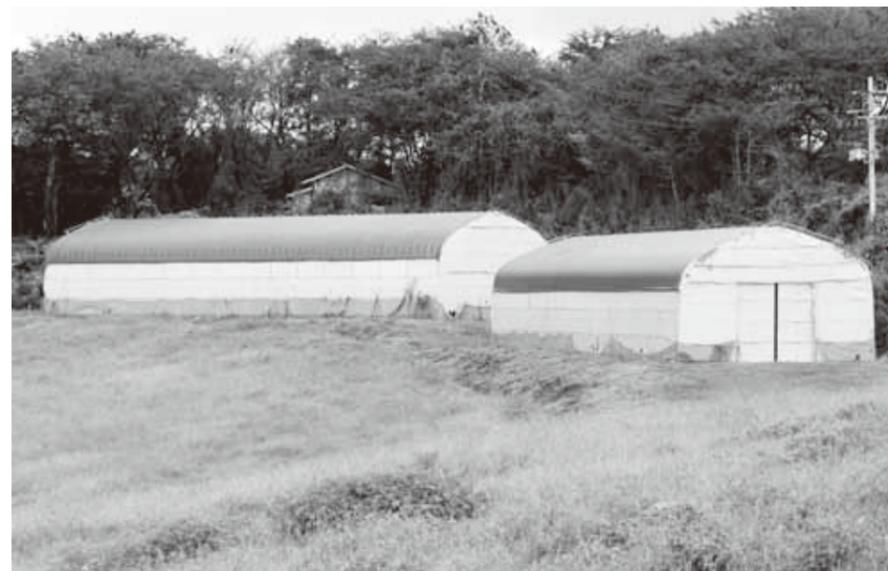
### 処分計画と安全性は

**問** 2月の議員全員協議会では焼却か還元の結果は出ていない。町長の独断ではないのか。

**答** 町長 黒川地域行政事務組合理事会で決定している。議員全員協議会でも堆肥化の方向で説明した。

**問** 今年の春に土壌還元処理を実施した草地の安全性は。

**答** 町長 3ヶ所に400ベクレル未満の牧草を今年6月にすき込み、播種し、収穫前に検査したところ「不検出」という結果となり安全性を確認した。



▲保管中のビニールハウス

# 議会の調査機能を強化

## 3つの特別委員会を設置

第3回定例会において、次の3つの特別委員会を設置しました。

特別委員会とは、行政の特定の事柄だけを専門的、集中的に調査するために設けられる委員会です。

【委員定数】3つの委員会とも、議長を除く全議員（13名）で構成されています。

**議会改革調査特別委員会**  
 委員長 千葉 勇治  
 副委員長 石川 壽和

【設置目的】  
 議会活動の改革、活性化に関する調査研究並びに議員定数・報酬に関する調査研究のために設けられた委員会です。

**企業誘致に関する調査特別委員会**  
 委員長 高橋 重信  
 副委員長 吉田 耕大

【設置目的】  
 大郷町への企業誘致及び雇用確保を図るための委員会です。

**おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会**  
 委員長 石垣 正博  
 副委員長 大友 三男

【設置目的】  
 株式会社地域振興公社の事業運営に関する委員会です。

### 議会の主な動き (7/1~9/30)

月 日	用 務	月 日	用 務
7/1	建町記念式典	8/9	黒川地域行政事務組合議会第3回定例会（大和町）
7/2~3	教育民生常任委員会視察 （秋田県五城目町・すくすくゆめの郷）P30	8/15	戦没者忠霊碑参拝
7/4	広報広聴常任委員会	8/17	羽生の丘夏祭り
7/7	ピニールバレーボール親善大会	8/25	黒川地区婦人防火クラブ研修会
7/8	宮城県町村議会議長会70周年記念議員研修会（七ヶ浜町） 交通安全連絡協議会総会	9/1	大松沢地区民体育祭
7/10~11	総務産業常任委員会視察 （新潟県聖籠町・大郷町総務課）P30	9/6	老人クラブ芸能大会
7/16	黒川地域行政事務組合議会運営委員会（大和町）	9/7	ふながた若鮎まつり（山形県舟形町）
7/17	広報広聴常任委員会	9/11	第5回臨時会 議員全員協議会 議会運営委員会 交通安全県民総ぐるみ運動大郷町拡大会議
7/23	宮城県町村議会議長会臨時総会（仙台市）	9/16	大郷町敬老会
7/25	仙台北部道路建設促進期成同盟会総会（仙台市）	9/18~10/4	第3回（9月）定例会
7/27	郷和荘夏まつり	9/18	広報広聴常任委員会
7/31	仙台都市圏自動車専用道路整備促進期成会総会（仙台市）	9/20	秋の交通安全運動開始式
8/1	宮城県町村議会議長会議員講座	9/21	黒川地区交通安全宣言大会 大郷保育園運動会
8/3	おおさと夏まつり	9/27	交通安全ゲートボール大会
8/6	議員全員協議会 第4回臨時会 議会改革調査特別委員会	9/29	東北方面隊59周年記念事業
	後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会（仙台市）	9/30	議員全員協議会 広報広聴常任委員会

## 駐車場整備 法的手続きがなされていない

そうだとすれば申し訳ない(町長)

**問** 道の駅西側駐車場の取得を目的に開かれた全員協議会資料の中で、町が示した買収資産価格の合計額に約2200万円の計算間違いがある。大きな問題だ。

**答** 財政課長 合計金額は間違っていないが、全員協議会で示した説明資料に誤りがあった。大変申し訳ない。

**問** 駐車場の造成工事をする前に、法的に定められている「町道路工事施行承認申請」及び町道など隣接地との「境界確定申請」について業者から町に対し提出されているのか。

**答** 地域整備課長 「町道路工事施行承認申請」について、協議はあったように感じている。承認申請書は提出されていない。

**答** 財政課長 「境界確定申請」について、今は答弁できない。（後日確認し境界確定申請も未提出が判明）

**問** 町長が業者に工事を依頼し、早く忙しくやらせた結果、法的に定められている諸手続きもされないまま進められている。町長の見解を求めます。

**答** 町長 そうだとすれば申し訳ないと思う。多分町が使うものであり、町のため「町道路工事施行承認申請」を出さなかったのではと思う。今後指導していく。

**問** 駐車場法面がたやすく崩れる危険がある。そうすれば町長が力説する安い買い物でなく高い買い物になるのではないのか。

**答** 町長 災害は起きない。今後は構造物も物差しで測るように対応していく。



千葉 勇治 議員

### 一般質問

#### 農業後継者の確保に全力支援を

**問** 本町等、地方の急激な人口減少の元は基幹産業である国の農業政策軽視にある。食料自給率を向上させる対策こそ定住化対策になる。家族農業10年のスタートの年あたり、農業を守る町長の見解を伺う。

**答** 町長 大郷の農業を守るには異業種（農業以外）の皆さんの協力しかない。大規模農家が潰れるならさらなる大規模化に向かい農地集積を図るしかない。



▲無申請で約5メートル工事（補修）された道の駅西側駐車場入り口付近の町道

# 第72回 追跡レポート

## 学力の向上を

サマースクール等のさらなる充実を図り、学力向上に努められたい。  
(平成29年度決算審査特別委員会より)

### 教育長

今後、学校や保護者などにPRをしながら参加人数増につなげたい。  
(平成29年度決算審査特別委員会より)

### その後の対応と今後の計画

サマースクールそのもので学力向上を図るということよりも年代の近い大学生から学習方法を学び、子どもたちの家庭学習が習慣付けになれば学力が向上するというところから始め、平成30年度からは、新たな試みとして中学生を対象に大学訪問を行い、子どもたちの学習に対する意欲の向上を図っています。また、町教育委員会主催で教職員向けの教育研修会や講演会を開催し、学力向上に向け取り組んでいるところです。さらに他機関との連携により児童生徒の学習意欲の向上を図ってまいります。

学校教育課長



▲大学訪問で学習意欲向上を図る

## 歴史民俗資料館準備室について

歴史民俗資料館準備室は現在どうなっているのか。  
(平成29年度決算審査特別委員会より)

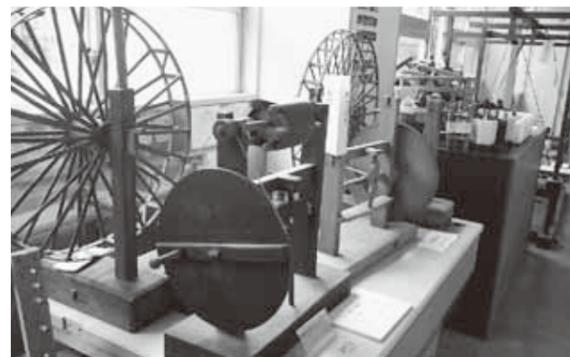
### 社会教育課長

旧大松沢小学校は雨漏りなどがあり、貴重なものをピックアップして別の場所への展示を考えていく。旧大松沢小学校は使わないと考えている。  
(平成29年度決算審査特別委員会より)

### その後の対応と今後の計画

歴史民俗資料館準備室は、雨漏りがひどく、また消防法・建築基準法の不適合等もあり大規模な修繕を行わないと歴史民俗資料館としての活用はできない状況にあります。これまで、町内既存施設等への移転を検討してきましたが、どの施設への移転にも、施設改修や修繕が必須となり、財政的にも厳しい状況にあるのが現状です。とはいえ、町の大切な遺産ですので、少しでも早く移転できるよう検討していきます。

社会教育課長



▲早期の移転先確保を

## 教育民生 常任委員会

7/2 ~ 7/3



▲もりやまこども園（五城目町）

### 【調査の概要】

7月2日、「すくすくゆめの郷」において、認定こども園開設に向けた取り組み、準備状況、課題等について調査をした。7月3日、秋田県五城目町「もりやまこども園」において、開設から現在に至るまでの経過と概要、職員の確保・研修、園運営の特色・工夫等を調査した。

### 【意見】

- 幼児教育・保育の質の確保は、保育士の余裕ある人員とたえざる人材育成の研修につけると考える。宮城県の保育士有効求人倍率は4倍と採用側が人材確保に窮する状況であり、町教育委員会としても注視すべきである。
- 五城目町は保育士の初任給を短大卒業のレベルまで待遇改善（159,800円/月）し、保育士を確保した。また職員研修、園外研修も数多く実施し、その代替保育士の確保にシルバー人材センターの活用等、町と一体となって安心して預けられる環境づくりに取り組んでいた。本町としても施設の整備・充実と並行して人材確保に万全を期されたい。
- 英語・音楽等の特色ある教育・保育の運営、またその評価をどう行うのか。学校と町教育委員会の具体的連携を示すべきである。

### 次回は

「教育環境に関する調査について」を調査します。

## 総務産業 常任委員会

7/10 ~ 7/11



▲中央防災倉庫（聖籠町）

### 【調査の概要】

7月10日、総務課より役場会議室において、自主防災組織の活動状況や災害弱者に対する対応などについて調査をした。7月11日、新潟県聖籠町生活環境課より同様の調査案件の説明を受け、その後中央防災倉庫の現地調査を行った。

### 【意見】

- 本町の自主防災の活動は、各組織に任せているが、町民一丸となった地域住民主体型で年1回同日に、全地域参加の防災訓練を実施すべきである。
- 災害弱者に対する対応としては、地域との連携が不可欠である。防災訓練を行い不備やシステム不良箇所の発見に努め、実際の災害時に充分対応できる体制が検証すべきである。
- 本町も新しい防災マップを作成することであるが、万が一の備えとして充分役に立つものにすべきである。
- 消防団員の確保はどこの自治体においても大きな課題である。町民一丸となり団員確保に向け努力すべきである。

### 次回は

「産業振興について」を調査します。

保育士の人材確保に万全を！

防災対策の取り組みについて

# 住民の 声



鈴木 敏子さん  
(下町)

大郷に来て  
本当に良かった

60年間、仙台市の泉中央に住んでいました。その間に両親を送り、子どもたちも独立し、10年前から夫婦2人になりました。ある時、子どもたちから田舎暮らしを勧められ大郷町に来ました。

以前は、マンションから昇る朝日はかり見えたのが大郷町に来てからは、田園より昇る朝日、船形山に沈む夕日、星が明るく綺麗で一日中感じる自然の匂い、冬になると白鳥が飛来し、我が家のすぐ前にも数百羽が餌を食べ、休んでいます。ときには10羽ほどの白鳥がアーチ状になり見送ってくれます。

ご近所さん、皆様良い方ばかりで、畑の恵をいただいで元気に楽しく過ごしており、持病だったアレルギーも治りました。空気が綺麗だからではと、病院の先生の言葉でした。稲刈りが終わると、また白鳥が来ます。大郷町に来て3度目の冬、また、来る白鳥を心待ちにしている今日この頃です。大郷町に来て、本当に良かったと思っています。

正確で解りやすくをモットーに  
より良い紙面づくりを目指します！

予定

## 次回定例会

12月3日(火)

10時開会

12月6日(金)

みなさんの傍聴を  
お待ちしております。



広報広聴常任委員会

編集委員

広報広聴常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
員	員	員	員	長	長
石川	熱海	赤間	吉田	佐藤	若生
壽和	文義	茂幸	耕大	牧	寛

### 編集後記

改選により新メンバーによる広報です。30代の議員2名が入り、心強く思っています。改選年の11月号は、今まで11月末日発行であったが、奮闘し1ヶ月早めの発行となりました。

一般質問には10名の議員が登壇し、各方面から鋭い質問がなされています。ご一読ください。

今年の夏も厳しい暑さが続き、人にも作物にも大きな影響を及ぼしました。これからまた、厳しい冬に向かいます。ご自愛ください。

若生 寛